

## 全校生徒を対象に、進路ガイダンスが行われました

7月13日(金)6、7限に、全校生徒を対象に、本校体育館等で、大学・短期大学・専門学校等45校、および企業9社による進路ガイダンスを実施しました。生徒は希望するブースを3つ選び、それぞれ30分で学校や企業の説明を聞き、質疑応答をしました。参加したほとんどの生徒が、進路を考える上で役に立つ話が聞けたと感じており、職業や学問についての理解を深め、進路意識を向上させることができました。進路ガイダンスの様子や生徒の感想をご覧ください。



大学・短期大学・専門学校ガイダンス風景



企業ガイダンス風景



### 【生徒の感想】

- よい時間を過ごせました
- オープンキャンパスに行ってみたく気持ちが高まった
- 進路の道がたくさん作れた
- 大学の方の話を聞いて、進路について考え直すとても良いきっかけになった
- 大学や専門学校のことは知らないことばかりだったけれど、今回のガイダンスで詳しく知ることができ、進路選択に役立った
- どのブースも詳しく、わかりやすく説明してくれたので、進路を決める参考になった



## 思考力・判断力・表現力の育成を目指す授業改善の実践

玖珠美山高校では、思考力・判断力・表現力の育成を目指し、授業改善を推進しています。本年度も、学校の授業改善のテーマを「生徒の気付きを促し、思考の流れを重視した効果的な発問で構成する授業」として、全職員で取り組んでいます。その取組の一つとして、7月17日(火)に本年度第1回授業研究会を行いました。本年度は、日田教育事務所主催の地域授業改善協議会も兼ね、6教科の授業参観や研究協議等を通して、小中高の校種間連携の促進を図りました。県教育委員会日田教育事務所及び管内小中学校教員、学校運営協議会委員や他の高校より多数参加していただき、授業改善に役立つ大変有意義な研究会となりました。授業研究会の様子は以下の通りです。



国語授業風景



地歴授業風景



数学授業風景



理科授業風景



英語授業風景



農業授業風景



研究授業後は、教科ごとに6つの分科会に分かれ、研究授業を踏まえ、目標達成に向けた発問ができていたかなど指導法などについて、意見交換を行いました。また、小中学校の先生方から見た高校の授業の疑問や感想を述べてもらい、他校種の取組実践について、協議を行うなど、小中高の校種間連携について考える機会となりました。参加者からは、「異校種間で意見交流ができ有意義であった」「小中高の授業交流を増やすべき」「高校での学習の基礎を、今後小学校でどのように展開すべきかイメージが持たた」「めあて、発問、まとめを明確にすると、よりメリハリがつく」などの意見が聞かれました。

最後に、会議室において、約120名の参加者全員を対象として、大分県教育庁教育次長姫野秀樹氏に、「地域で育む子どもの未来(自立)」と題して、講演をいただきました。大学生の読書離れをはじめとして、社会や教育環境が変化してきていることを踏まえ、これから学校や地域に求められることについて、スポーツ界での人材育成の視点からのわかりやすい説明がありました。また、地域でビジョンの共有を行い、地域独自の強みを生かし、「ふるさとをもっとよくしたい」「地域に活力を与えたい」と考える生徒を、幼小中高13年間で育ててもらいたいと、姫野教育次長の思いを熱く語って頂きました。





## 「みやま」の清々しいプレイを県下に見せつける



6月29日(金)に、野球部県予選大会に向けて壮行会を行いました。奥田校長、神田生徒会長からの激励の後、野球部主将である須藤春樹君(3年、このえ緑陽中学校出身)が、「一球一球を大切に、自分たちができる精一杯の試合をします。」と抱負を述べました。

そして、7月8日に、第100回全国高等学校野球選手権大分県大会が、大分市の別大興産スタジアムで開催され

ました。開会式では、本校野球部はマネージャーの梅木颯夏さん(このえ緑陽中学校出身)を先頭に選手17名が堂々と入場行進を行いました。試合は、7月9日第3試合で大分東高校と対戦しました。選手は暑い中団結して頑張りましたが、残念ながら2対9で敗れました。しかし、3年生部員4名と少ない中、最後まで諦めずプレーする姿は、とても感動しました。



## 表彰式、壮行会(インターハイ、九州大会、県大会)を行いました

7月24日(火)、農業クラブ大会において、ポスター優秀の松木留里さん(3年地域産業科、森中学校出身)、大会スローガン優秀の岩田龍聖君(3年地域産業科、北山田中学校出身)の表彰式を行いました。

また、7月末から8月にかけて行われるインターハイ(ホッケー部男子、少林寺拳法部)、ラグビー全国大会、農業クラブ九州大会、大分県吹奏楽コンクール、席上揮毫大会(書道部)に出場する部活動の壮行会を行いました。各部からの決意表明の後、全校生徒で選手の各大会での健闘を祈って、校歌を斉唱しました。

あわせて、7月28日から24日間、アメリカワシントン州コークハーバーへ短期海外留学する生徒3名が出発のあいさつをしました。





# NEWS No-15

## 美山グローバルプロジェクトⅢ（MGPⅢ）始まる

本校は、本年度も、県教育委員会の「地域の高校活性化支援事業」として、『美山グローバルプロジェクトⅢ（MGPⅢ）』の取組を行います。MGPⅢは、以下の3つのプロジェクトからなり、地域の学校として玖珠美山高校を活性化していきます。

学力向上プロジェクト	○学習・進路意識の向上、難関大学等の進路希望達成を目指す ・東京・つくば研修（10月、東京大学キャンパスツアー、JAXA見学等） ・予備校講師による難関講座 ・夏季学習合宿 等
部活動活性化プロジェクト	○部活動のスキルアップ、活性化、地域貢献を目指す ・部活動生対象講習会（外部講師による、技術・メンタル・食事指導等） ・地域行事への参加支援（日本童話祭、玖珠祇園、機関庫まつりなど） 等
地域問題解決プロジェクト	○普通科、地域産業科ともに、地域課題解決に向けての研究の支援を行う ・地域人、大学生等と連携して、地域課題の解決に向けて研究、発表 ・地域課題の調査研究、解決策の発表会 等

今回は、難関大学希望者特別講座として、外部人材を活用した取組である難関講座の紹介をします。

### 予備校講師による難関講座（英語、数学）

7月29日（日）に、北九州予備校大分校において、大分校講師による難関講座を実施しました。受講者は、いずれも希望した生徒であり、2年生5名、3年生5名の計10名でした。午前は、数学を2コマ、午後は英語を2コマで、ややレベルの高い問題に取り組みました。受講した生徒の感想をいくつか紹介します。

難普段の授業とは違う楽しさや厳しさがありました。数学、英語とも講師の先生が入試問題を優しく丁寧に解説してくれたので、自信をつけることができました。予備校で直接授業を受けるという貴重な体験ができ、受験に対する進路意識や学習意欲が高まりました。



### 夏を制する者は受験を制す!! 学力・進路意識向上のための取り組み

玖珠美山高校では、この夏、夏季補習や3年生夏季学習合宿、資格取得特別講座、大学のオープンキャンパスへの参加など、まさに「夏に鍛える」取り組みに積極的に挑戦してきました。今回は、3年生の夏季学習合宿について紹介します。

#### 2泊3日の3年生夏季学習合宿

8月1日（水）から8月3日（金）の2泊3日で、九州大学九重研修所において、3年生夏季学習合宿を実施しました。普通科3年1組（国公立クラス）35名が参加して、延べ1520分（25.3時間）の自学自習に挑戦しました。

以下は、参加者の感想です。

今回の合宿では、集中して一生懸命に自学自習に取り組むことができました。やればできることを実感しました。この夏休みが勝負だと思うので、学習計画を立て、今回の合宿で身につけた自信で、夏を乗り切りたいです。そして、志望校合格につなげたいです。本当に、充実した3日間でした。

